

会 長	専務理事	理事	局長	課長	係

第 2 3 回 全日本自動車整備技能競技大会 詳細レポート

令和 4 年 1 2 月 2 日

技術教育課 小嶋雄介

1. 当県の得点及び順位について

【結果】

	実車競技	基礎競技	アドバイザー競技	減点	総合得点	順位
今大会	580/700	90/100	136/200	-10	796/1000	13位/45
前回大会	600/700	17/100	121/200	-40	698/1000	40位/51

(1) 実車競技

①高得点にならなかった

- ・設定 1 問の正解を出せなかった
- ・最後まで終了することができず、片付け等ができなかった

②前回と同等程度の得点

- ・全ての設定の正解を出した前回と同等程度の得点となったことから、前回よりもチェック項目を多く満たし、1 問における得点が高かった。

(2) 基礎競技

- ・これまでにない高得点となった。

(3) アドバイザー競技

①後半のアドバイザー競技が高得点とならなかった

- ・時間内に終了できなかった。
- ・実車競技で全ての設定の正解を出していないため、説明できない項目があった。

②前半のアドバイザー競技が前回より高得点

- ・実車競技で全ての設定の正解を出した前回よりも高得点となったことから、前半のアドバイザー競技について、前回よりもチェック項目を多く満たし高得点となった。

(4) 減点項目

- ・競技後の片付けが終了しなかったため、－10点となった。

(5) 総合得点及び順位

①入賞できるような高得点にならなかった

- ・実車競技で時間内に設定1問の正解を出せなかったことが、実車競技だけでなくアドバイザー競技にも影響した。

②前回よりも高得点、高順位となった

- ・実車競技で全ての設定の正解を出した前回よりも高得点・高順位となったことから、前回よりも一つ一つのチェック項目を、より多く満たした質の高い競技ができた。

③設定が全て解けなかったチームの中で高順位となった

- ・全ての設定が正解できなかったチームの中では、高い順位となった。

2. 競技大会の振り返り

(1) 実車競技、基礎競技

【故障設定一覧】

	症状	故障設定
問題1	エンジンが始動できない	スターターリレー不良（接点側断線）
問題2	エンジン警告灯点灯 (P03352A:Neセンサ信号範囲内固着)	クランクポジションセンサ本体不良 (断線)
問題3	その他警告灯点灯（PCS警告灯） (C1AAE00：前方認識カメラヒータ異常)	カメラヒータ回路不良（断線）
問題4	エアコンの風量が切り替わらない（4速しか風が出ない）	レジスタ不良（温度ヒューズ断線）
問題5	ホーンが吹鳴しない	ホーンリレー不良（接点側断線）
問題6	ドアロック解除後、運転席ドアを開けた状態で、時々勝手にドアが施錠する	カーテシスイッチ不良（断線）

①出題傾向について

- ・過去大会で出題があった「目視でわかるような簡単な設定」が一つもなく、全ての設定で整備マニュアルの閲覧、診断が必要であり、実質的な作業量が増えたため、どのチームも時間的余裕がなく、平均得点が下がった。
- ・一つ一つの設定は、マニュアルどおりに故障診断することができる比較的簡単な設定だった。

②問題 1, 2, 4, 5 について

- ・指導者チームが想定していた範囲内の出題であり、十分な訓練を実施していたため、ほとんど完璧な診断作業ができた。

③問題 3（カメラヒータ不具合）について

- ・当県チームが想定していなかった出題であり、選手は初めて診断・整備を実施することとなった。整備マニュアルの掲載箇所、カバーの取り外し方、診断方法の一つ一つが不慣れであり、時間が掛かり、結果的に多くの時間を使い、時間内で正解を導くことができなかった
- ・当県チームが想定していなかった理由は、カメラ等に故障設定をした場合、修理後にエーミング作業が必要になる場合が多く、競技大会の特性上出題はありえないとしていた為だが、大会では「エーミング作業が必要のないカメラ関係の故障」が設定され、盲点を突かれた形となった

④問題 6（運転席ドアロック不具合）について

- ・当県チームは、類似の出題（他のドアでの出題）は想定しており、訓練を実施していたが、運転席ドアでの出題はありえないとして、訓練をしていなかったため、整備に時間がかかった。
- ・当県チームが運転席での出題はありえないとしていた理由は、日整連が事前に公表していた「選手が使用する機器・工具」の中に含まれる工具では、取り外すことができない部品の設定であった為であった。
- ・実際の競技車両は「選手が使用する機器・工具」で取り外すことができるように、競技車両に仕様変更（改造）がなされており、整備が可能になっていたが、選手は「取外すことができない」と強く思い込んでいたため、改造されていることに気づくまで時間がかかった。（最終的には審査員から改造されている旨の助言を受けた）

⑤基礎競技について

- ・当県チームが想定していた範囲内の出題であり、十分な訓練を実施していたため完璧な対応ができた。なお、全国で2位の得点（90点）となったことで、結果的に他チームから大きなアドバンテージを得た。
- ・競技の終盤ではなく途中のタイミングで時間的余裕を持って実施する戦略だったことも、高得点になった大きな理由となった。

⑥実車競技全体にかかった時間について

- ・作業時間を短縮する為、実車競技中の選手の動きや流れを前回大会から大きく変更したが、今回の設定では全ての作業を終了させることができなかった。ただし、変更した動きや流れは機能していたため、高い効果があったと推測できた。
- ・当県チームが想定していなかった問題 3 の故障診断作業に、極端に多くの時間がかかった。

(2) アドバイザー競技

①前半アドバイザー競技（受入/問診）

- ・前回大会での反省点から、時間的にも効率よく問診することを訓練したことと、選手が元々持っている高い接客能力と相まって、高得点となった。（アドバイザー競技の得点が、設定を全て正解した前回よりも高得点であることから、前半競技（受入/問診）の得点が高得点だったことがわかる）

②後半アドバイザー競技（納車説明）

- ・実車競技の設定について全て正解が出せなかったこと、時間がなく、最後まで終了できなかったことで、低い得点になってしまったため、この競技単体では評価することができなかった。

3. 今後の課題等

(1) 実車競技、基礎競技

- ①選手の動き、順序、流れ等は、前回よりも大きく改善し、効率よくできたが、今回の設定ではそれでも時間が足りなかったことから、さらなる効率化を目指し訓練したい。
- ②指導者チームの想定していなかった設定が1問出題されたため、指導者チームのさらなる研鑽・研究を押しすすめたい。

(2) アドバイザー競技

- ・とても質の高い競技ができたことから、今年度と同じ方向性で引き続き訓練を継続したい。

(3) 全体

- ・競技全体では大きな問題がなく、前回の問題点も大幅に改善されたことから、今年度と同じ方向性で引き続き訓練を継続したい。

4. 所感

今回大会の実車競技、基礎競技では当県チームが想定した設定が数多く出題され、選手がおおむね予定どおり競技を進められたことは、外部指導者の方々の能力の高さと、充実した訓練を効率よく行うことができたことの証となったと感じています。さらに、とても悔しい結果となった前回大会の問題点に対して数多くの改善ができ、得点、順位ともに大きく飛躍できたことに対して、担当者としてこれ以上ないほどに満足しています。

一方で、実車競技の設定1問を当県チームが想定して訓練することができなかったことが悔やまれます。結果から見ても、その設定以外は素晴らしい成績であったため、事実上、その設定をうまく診断することができなかったことが、入賞に届かなかった最大の原因になってしまったことは間違いありません。設定を想定して訓練することは、指導者側の役割であり、決して簡単なことではありませんが、今後の課題とし、さらなる研鑽に努めます。

なお、今大会のこの結果には、審査員として参加した前回大会後に作成した分析レポートや作成したデータが大きな力になっているため、今後もしっかりとした事後の分析を続けて行き、さらなる飛躍を目指して取り組みたいと思います。

5. 設定に対する日整連への要望等

(1) 競技車両が一部仕様変更（改造）されていた件について

問題6の設定で競技車両が仕様変更（改造）されていたことについて、今後このような設定がないように日整連に対して要望することとしたい。

日整連が、事前に工具や競技車両を細かく決めて公表しているのにも関わらず、日整連自らが一方的な都合により競技車両に一部仕様変更を施し、通知もせずに出題したことは許容できません。

事前公表した車両に改造を施して出題するような設定が今後も出題されることになると、なんら制約の無いなんでもありの出題が可能となり、選手側が事前に訓練などで対策することが難しくなると同時に、日整連が競技車両等を事前に公開している意味が無くなります。

ただし、今回は全てのチームが同条件で競技を実施しているため、競技結果を大きく左右した問題では無いと考えています。



不具合設定があった運転席カーテシスイッチの取り付けボルトは、特殊なボルトのため本来公表された工具では取外すことができないが、プラスドライバーで取外すことができるように、ボルトが交換されていた。

(2) 過去に「出題しない」と説明があった設定が出題された件について

前回の大会の審査員説明会において、「12ヶ月点検項目にないような装置の不具合については、お客様が不具合を言わない限り設定はない」という旨の説明があったが、問題5（ホーンの不具合）の設定は、それに完全に当てはまる出題であり、これまでの説明と大きな矛盾があることや、選手が点検しなければならない根拠がないような出題であった。

ただし、この件については、前日の説明会において既に意見し、日整連側から「思慮が足りなかった」「次回からは出題しない」というような旨の回答があったため、この件はこの返答を持って終了することとしたい。